

いきいき広場

神代若鮎

スポーツ少年団

団員 16名

3年生4人

4年生5人

5年生7人

監督 清水和広さん

父母会長 安藤郁弥さん

コーチ 大石柊斗さん

グラウンドでボールを追いかける神代小学校の学童野球新人チームを訪問した。「練習する日はいつですか。」「火・水・金曜日です。」「練習が始まりの時間は何時ですか。」「午後4時からです。」「私の質問に、歯切れよく応える球児たち。

野球やる子が少なくなってきたことは、親も少なくなっているというところか。父兄は仕事が終わってからグラウンドに来るので、その間、指導に当たってくれる人をお願いしているという。前は、会社の社長をやっていた

る人もいて融通が利いていたが、今はなかなかそうもいかないのが実情とのこと。

「神代は子どももの親が監督を務めています。何よりも礼儀を大切に指導したいと思います。まずは挨拶がしっかりできるように頑張ってほしい。」と清水監督の話。

陽が少し沈みかけた頃、グラウンド上に散らばっていた球児たちが、一斉に立ち止まり、帽子をとって「お願いします」と一礼すると、そこに登場したのは、コーチを務めるこの春高校を卒業したばかりの元球児。一日の仕事を終え、後輩の前に立つお兄さんのはつらつとした動きに子どもたちは更に快活さが増す。

「照明を補充してほしい。」「冬場は、スキーなどで野球から離れることになるので、キャッチボールができる大きな施設がほしい。」「雨天時対応として雨風をしのげる施設があれば」と父母会の安藤会長さん。近くにある神代体育館は空きがないくらいよく使われており、割

り込むのは大変であるとのこと。

学校行事や放課後の疲れを見せず、好きな野球で大きな声を出し、仲間を励まし気づかせ合う姿に元気をいただいた。

(平岡裕子記)



練習に励む神代若鮎の子ども達

編集後記

台風24号、25号と立て続けに、毎週末に日本列島を襲い吹き抜けていきました。大規模停電や突風、収穫前の果樹や稲作、畑作物等の被害に遭われた方々に心からお見舞い申し上げます。

秋田県の伝統芸能の祭典

控室

環境の変化が人を変える

いつから稲刈り始める？
今年の収量はどのくらいか？

こんな話題が飛び交う控室。定刻（午前10時）が近づき各自議場へ向かう。その姿がやや緊張気味に思えるのは気のせいかな？

9月より運用の、場内に設置された新しいライブカメラシステム。仙北市議会のインターネットライブ映像配信は

これまでよりも格段に性能がアップした。

インターネット配信により、議会内での発言が一瞬で拡散する恐れがあり、その内容によっては発言者のモラルを問われ、又、それ以上に注意すべきは第三者を傷つけてしまう恐れもあるということ。

新しいライブカメラの設置という場内の環境の変化は、私も発言者に、より一層質の向上を求め変わっていくことを望んでいる。そういうメッセージを感じる。

(門脇晃幸記)

「新・秋田の行事」仙北2018」も台風の為、7日は中止となってしまいました。6日には角館町内会場で夜遅くまで観光客で盛り上がったのに、(もう1日あればなあ)との関係者の嘆きの声が秋空に空しく響いていきました。

さて、今年の9月定例会から、決算審査も同時に行う事となりました。決算質疑が、

当局の新年度当初予算に少しでも反映されれば一歩前進であります。

議会だよりの紙面が限られており、皆様に予算常任委員会での審査内容をうまく伝えられるかが、今号のキーポイントです。

読者の皆様よろしくお願います。

(熊谷一夫記)